

1 生涯学習のすそ野を広げる事業の展開 (1)

公民館などで学習や活動をしている人が大勢いる一方で、様々な理由で学習をしていない人もいます。

学びたいのに学べていない人には、教室の開催時間や場所を検討し、参加しやすい環境を整備するといった方法が考えられます。生活をより豊かなものにするために、生涯学習は欠かすことのできないものであることから、無関心層が学びへの「1歩」を踏み出すために、「気が付いたら」、「いつの間にか」学び始めていたというような仕掛けや生涯学習のすそ野を広げる取組を推進していく必要があります。

弥彦線高架下緑道を活用した学びの推進

【主要施策1】

「うち」から「ソト」への事業展開

学ぶ機会がなかった人が、気が付いたらいつの間にか、生涯学習の入り口に立っていたという仕掛けを展開していくことで、生涯学習のすそ野を広げていきます。公民館などの公共施設だけではなく民間施設を含む、市内の至る所で「生涯学習の芽出し」事業を展開します。

【主な取組】

- ・学びの場・学んだ成果を発表する場を「ソト」へ広げる取組（生涯学習課）
- ・「話題の企業・場所」を活用したスマートウエルネス融合事業の実施（生涯学習課）

推進計画の指標（ものさし）と目標値

指標	現状値 (H26)	目標値 (H34)
1年間学習をしなかった人の割合	40.2%	30% 以下

【主要施策 2】

次代へ「残したい・伝えたい」

伝承事業の推進

地域の伝統文化や歴史、昔遊びの伝承のほか、高齢者が有する地域活動などに関する経験や知識を積極的に紹介し、市民の関心を高め、次の世代に正しく伝えていく機会の充実を図ります。

【主な取組】

- ・地域の遺跡・史跡等を学ぶ機会の提供（生涯学習課）
- ・地域の伝統料理を作る・食す機会の提供（生涯学習課）
- ・地域行事等の情報発信（地域経営課）

【主要施策 3】

「待ち」から「攻め」の情報発信

学びの「きっかけ」はどこにでも存在することから、催事イベント等の情報発信は従来の固定観念にとらわれず、駅・病院・スーパー等の民間施設も含めて大胆な発想で「攻め」の情報発信を推進します。

【主な取組】

- ・公民館事業の可視化による広報戦略の推進（生涯学習課）
- ・イベントスタンド等の設置による事業広報（生涯学習課）
- ・各種イベントを活用したPR事業（生涯学習課）

2 生涯学習のすそ野を広げる事業の展開 (2)

フラワーアレンジメント創作活動
(大島公民館)

【主要施策 4】

オープンサークルによる

活動の「見せる化」事業

公民館で開催されているサークルや創作活動を市民が目にする機会を提供する「見せる化」を推進し、「市民の始めるきっかけ」、「1歩を踏み出す」潜在意識へのアプローチを図ります。

【主な取組】

- ・オープンサークル活動事業の実施(生涯学習課)
- ・三条マルシェ「学びのスペース」事業(生涯学習課)

【主要施策 5】

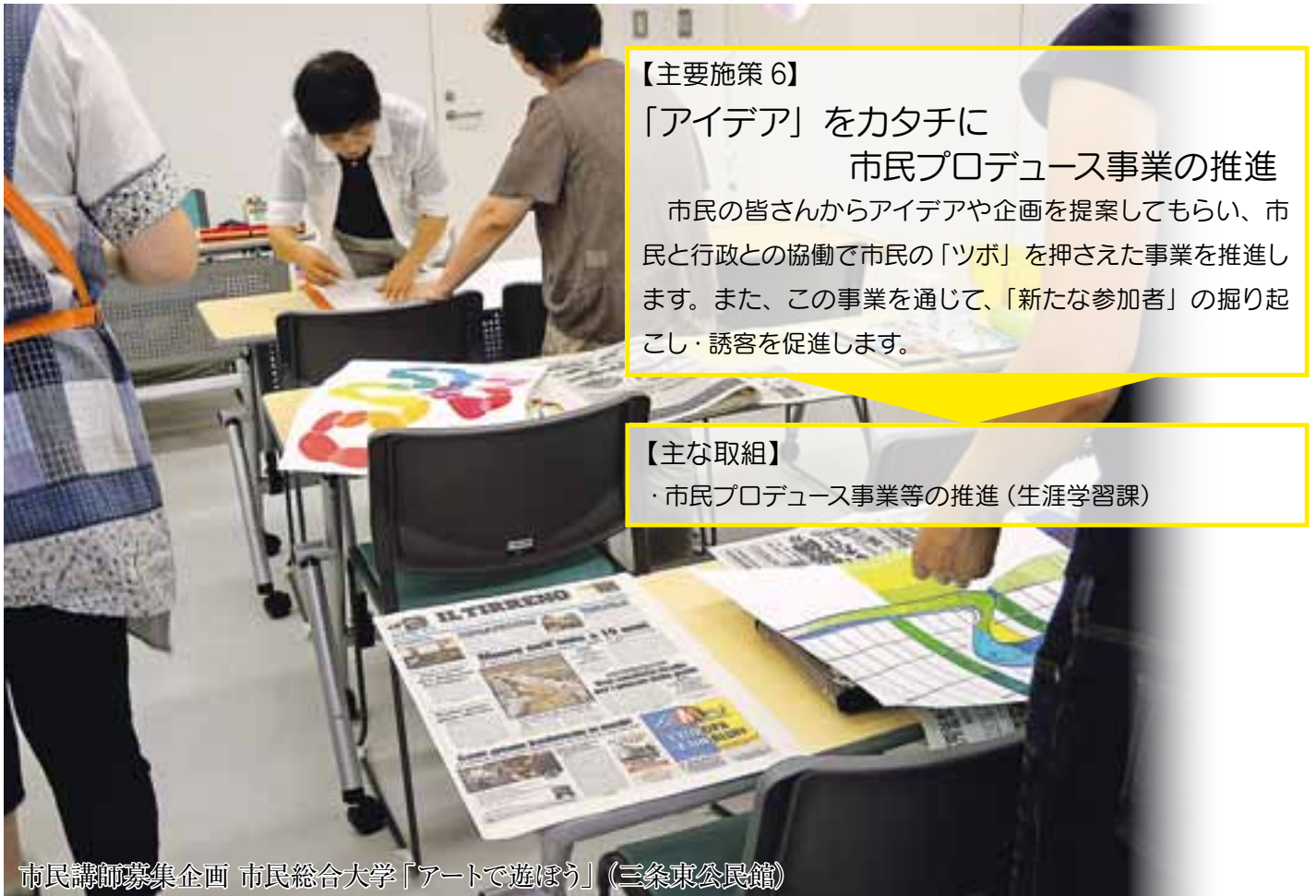
三条の「プライド」事業への取組

三条市出身の日本を代表するプロスポーツ選手や有名アーティストに関するイベント及び市が所有する世界で最も有名なピアノ「神々の楽器」と言われるスタインウェイピアノを活用するなど、「強みを活かした」人の流れを呼び込む事業を推進します。

【主な取組】

- ・三条市出身プロスポーツ選手・有名アーティストイベントの開催(生涯学習課)
- ・スタインウェイピアノ体験事業(生涯学習課)

酒井高德選手(三条市出身) 市長表敬訪問



【主要施策 6】

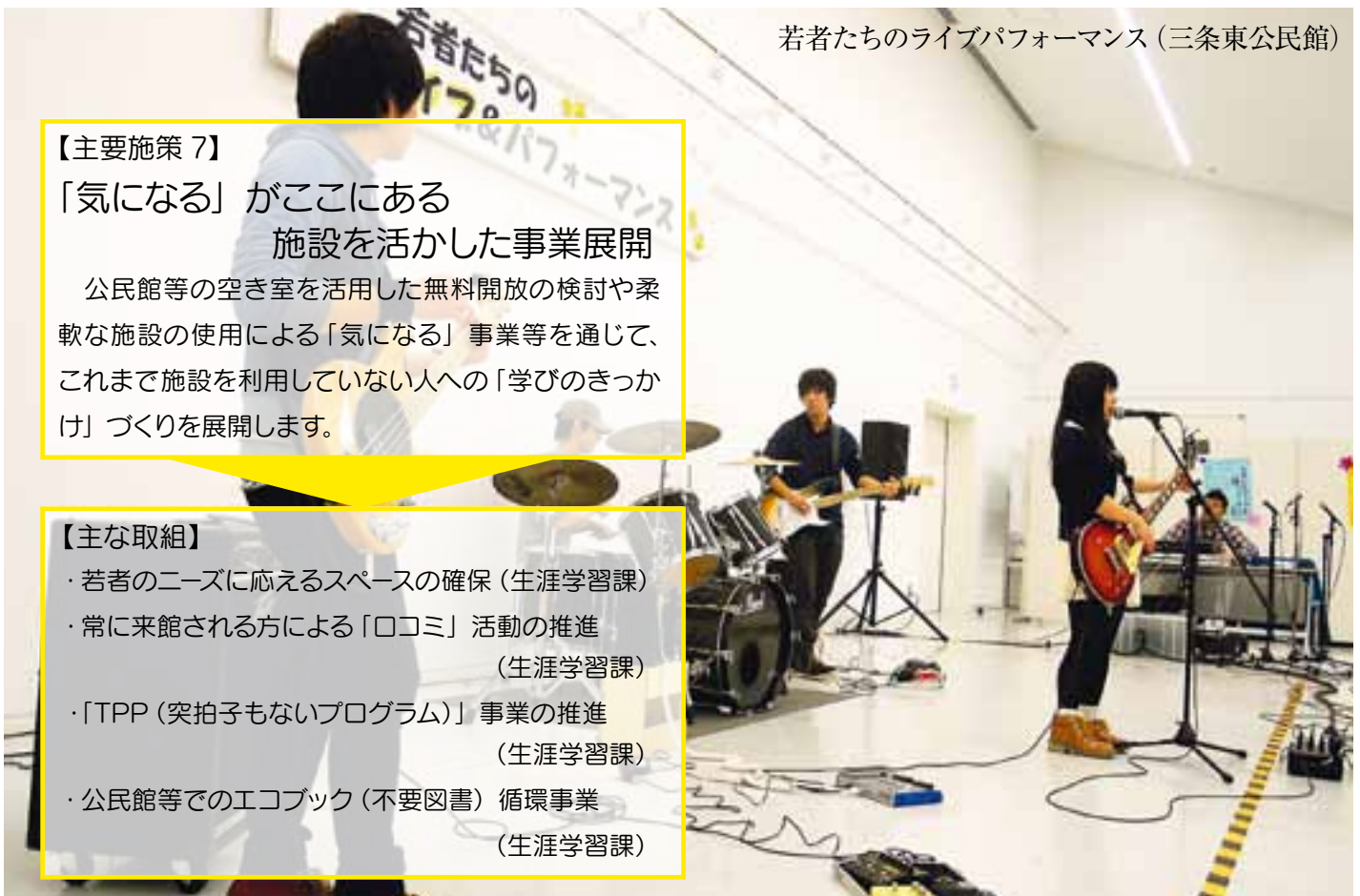
「アイデア」をカタチに
市民プロデュース事業の推進

市民の皆さんからアイデアや企画を提案してもらい、市民と行政との協働で市民の「ツボ」を押さえた事業を推進します。また、この事業を通じて、「新たな参加者」の掘り起こし・誘客を促進します。

【主な取組】

- ・市民プロデュース事業等の推進（生涯学習課）

市民講師募集企画 市民総合大学「アートで遊ぼう」（三条東公民館）



若者たちのライブパフォーマンス（三条東公民館）

【主要施策 7】

「気になる」がここにある
施設を活かした事業展開

公民館等の空き室を活用した無料開放の検討や柔軟な施設の使用による「気になる」事業等を通じて、これまで施設を利用していない人への「学びのきっかけ」づくりを展開します。

【主な取組】

- ・若者のニーズに応えるスペースの確保（生涯学習課）
- ・常に来館される方による「ロコミ」活動の推進（生涯学習課）
- ・「TPP（突拍子もないプログラム）」事業の推進（生涯学習課）
- ・公民館等でのエコブック（不要図書）循環事業（生涯学習課）

